

【若狭町】

1人1台1端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

若狭町では、令和4年度に「若狭町教育大綱」を策定し、基本方針の一つとして「学校教育の充実」を掲げています。この中で「ICTの発展によりこれからの超スマート社会を生き抜く人材育成のため、GIGAスクール構想による1人1台のタブレット端末を活用した学習に取り組み、これまでの学校教育の実践とICTを最適に組み合わせることにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教育を推進する」ことを目標としています。この目標の実現に向けて、学校や児童生徒の実情を踏まえたうえ、探求的な学習や体験学習において、ICTを積極的に活用し、互いの考えを伝え合う協同の学びの支援を行うことや、デジタルドリルを導入し学びの選択の幅を増やすことで、児童生徒の資質・能力の育成を推進していきます。

2. GIGA 第1期の総括

1. 経緯と現状

若狭町では、GIGAスクール構想に基づき、令和2年度に小・中学校の児童生徒に1人1台端末を整備しました。この5年間で学習用端末を接続するためのICT環境の整備を進めるとともに、教育現場での活用を推進してきました。

2. ICT 施策の実施内容

- ・ネットワーク環境の強化：令和5年度に教育用センターサーバーが保守可能期限を迎えたため、サーバー機能をクラウド環境へと移行を行いました。これにより、ネットワークの安定性と速度の向上を図りました。
- ・学習活動の充実：整備したICT環境を活用することで、児童生徒が情報収集、共同編集、意見共有、ICT端末を用いた発表など、さまざまな学習活動を行えるようになりました。

3. 課題と対応

- ・ICT活用の低頻度：福井県における学校教育DX進捗調査において、県内でも教科指導、情報教育におけるICT活用頻度が低く、公務においてもICTを効率的に利用ができていないのが現状であります。
- ・教職員間のICT活用について：授業や校務でのICT活用頻度に教職員間で差があることが課題として挙げられます。

以上のことから、他市町での取組事例や学校が抱える課題検討など、研修会を定期的に

開催し、課題解決ができるよう努めます。

3. 1人1台端末の利活用方策

若狭町では、GIGA スクール構想第2期において、端末を更新し、児童生徒1人1台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取組を進めていきます。また、第1期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討していきます。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

教職員に対し定期的な研修を実施していますが、ICT 機器の授業活用が全国平均を下回っている状況です。このため、研修の充実に加え、全国や県内の好事例の共有や互見授業の実施を通じて、教職員の ICT 活用指導力の向上を図ります。また、既存の授業支援アプリの活用を推進し、効果的な授業を支援します。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

AI ドリルの導入により、学習習慣の定着と学力向上に取り組んでいます。今後、町全体で授業支援アプリの導入を検討し、協働的な学びの充実を図れるよう検討します。また、令和7年4月には校務支援システムを導入し、教職員の事務負担を軽減して児童生徒と向き合う時間の確保を図ります。

(3) 全ての児童生徒の学びを保障するために

当町では ICT 端末を活用した授業を推進しています。グループウェアを利用し、自宅から授業に参加できる仕組みの整備や、AI ドリルを活用した多様な学習機会の提供に取り組んでいます。さらに、令和5年度より WEB フィルタリングを導入しており、有害サイトから児童生徒を守ることができます。